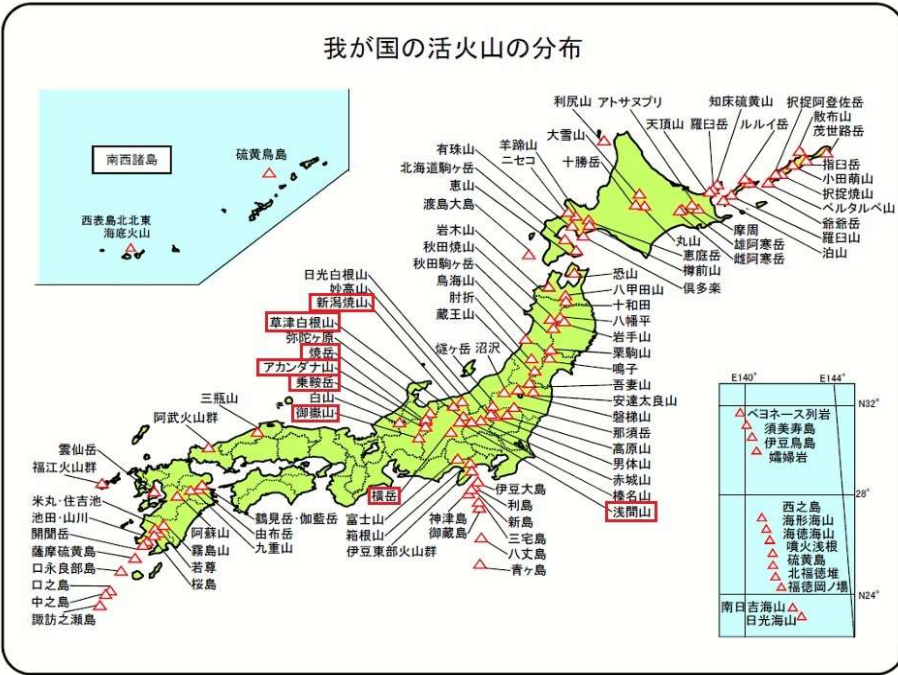


前号で「火山噴火による災害の事象」をお知らせしました。その災害規模は地震より甚大と思われたかと思います。しかしながら、数十万年にわたる火山噴火により、日本の国土は森林や野菜の生育する肥沃な地になり、清らかな伏流水・温泉・美しい景観等の地となりました。人類は火山の恩恵を得て、逆境を乗り越え、利用し、今日に至っています。火山噴火は、事前に察知できるので、事前に逃げることで命を護り、以降の復興に協力できます。なお「8月26日火山防災の日」は、来年度からの施行とのこと、ここに訂正とお詫びいたします。



8月1日号では国交省公表の日本の火山は110山とお伝えしましたが、**今は111山**です。2017（平成29）年に栃木県日光男体山が追加されています。

左図は気象庁からの最新版を転記しています。

出典 気象庁



今回は県内と県境の火山における避難想定をお伝えします。

【御嶽山（おんたけさん）】

2014年（平成26年）に日本における戦後最悪の火山災害を起こした御嶽山。噴火の歴史は過去マグマ噴火が4回、水蒸気噴火が18回で、近年活発化しています。なお、西暦774年と1892年に噴火したという言い伝えは、その痕跡はありません。

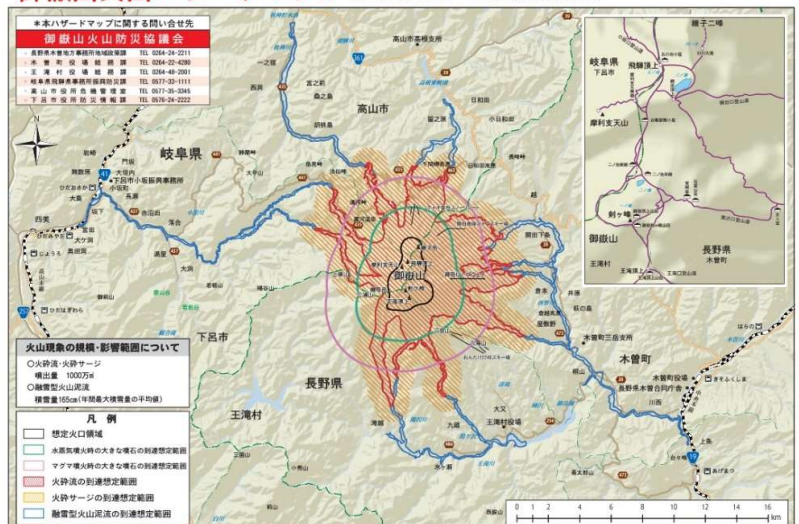
御嶽山火山ハザードマップを見る限り、登山する以外では恐れることはないと思われます。ハザードマップから、どこまで逃げれば良いかの目安を、読み解きますと、

開田高原中心部 安全
木曾福島 安全
岐阜県側にいた場合
西野峠を越えて開田高原に入るのは安全
高山市へ下るのも安全
ただし、火山灰による交通障害の懸念があるため
早々に北へ、松本側への移動が望ましい

木曾御嶽山安全対策情報
ホームページ →



御嶽山火山ハザードマップ（噴石、火砕流、火砕サージ、融雪型火山泥流予想図）

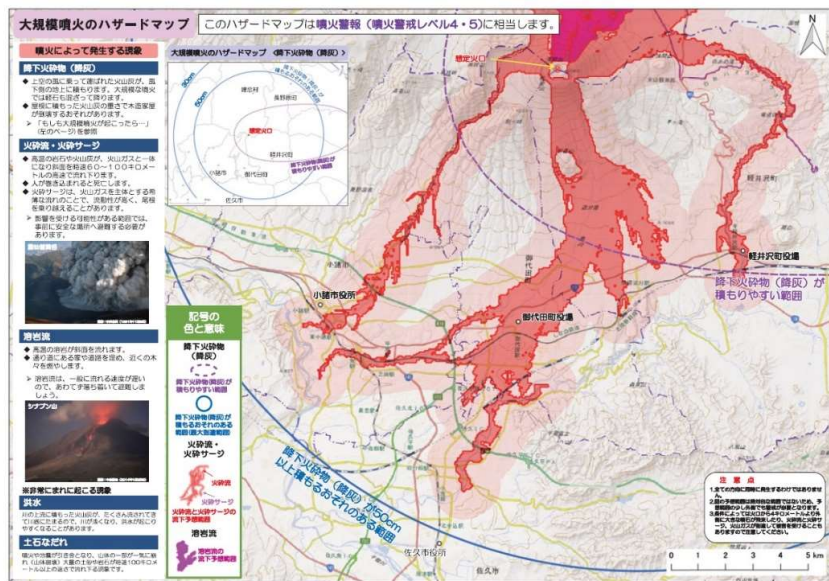


【浅間山（あさまやま）】

浅間山は噴火の歴史がたくさん残っている火山です。特に西暦1100年代以降は活発に活動し、溶岩流や火砕流を繰り返しています。1783年天明の大噴火の群馬県側への鎌原火砕流は大規模で、鬼押し出しを形成し、軽井沢で噴石飛来による死者、熱い噴石により何棟もの家屋火災が起きました。ハザードマップから、どこまで逃げれば良いかの目安を、読み解きますと、

軽井沢、御代田、小諸は危険
火砕サージで焼け死ぬ恐れあり
西の上田市や南の佐久市側へ
逃げましょう

北軽井沢（群馬県側）
嬬恋村のエリアは危険です
国道144号線に出て鳥居峠経由で
上田市へ逃げるのがベスト
それが叶わなかったら
長野原経由で渋川へ下るか
草津温泉へ登り、高山村経由で
須坂市方面へ逃げましょう



浅間山火山防災マップ
ホームページ →



【横岳（ハケ岳火山群）（よこだけ）】

茅野市の北部、横岳ロープウェイのある観光地です。ハケ岳火山群の一部で、2400～2200年前、それと900～700年前に溶岩流が生じています。横岳噴火ハザードマップはありません。火山防災の協議会が無いからです。それは喫緊の噴火は無さそうだから、と思われませんが、火山である前提で周辺を訪れましょう。噴火警戒レベルが3～4になったら、茅野市街へ降り、早々に松本に帰ってきましょう。



【ア CANDANA 山】

松本市の西、県境500mの岐阜県にあり、焼岳火山群ですが、111火山のひとつです。1万2千年前に溶岩流・溶岩ドーム形成等を起こし、山体崩壊しました。地質が赤く、山の中腹に平坦地地形ができ、「赤い柵」があることが名の由来です。複雑な凹凸地形と、山体崩壊した地質のままなので、もろく危険なため、登山道がありません。ほとんど認知のない火山です。焼岳と連動するか、単独で噴火するかは予測されていません。焼岳の場合と同様の避難行動が必要です。



【草津白根山（くさつしらねさん）】

群馬県の火山です。志賀高原・渋峠などと観光道路がつながっています。直近では、2018年1月に水蒸気噴火を起こし、降灰、噴石、死者1の被害が発生。志賀草津道路が数か月間一部通行止めになりました。

噴火警戒レベルが3～4になったら、高山村経由で須坂市（火山西側）へ降りるのが、降灰の影響が避けられるので、ベストです。



【新潟焼山（にいがたやけやま）】

白馬の北、新潟県堺の雨飾山の東方7km、北信の黒姫山の北西1.4kmくらいに位置します。大系線の中土駅や平岩駅（長野県）から東進し、乙見山峠を越えて新潟県笹ヶ峰へ至る未舗装林道の北側にあります。登山や山菜狩り等以外では近寄らない火山だと思います。

噴火警戒レベルが3～4になったら、白馬村中心部か糸魚川市街へ下れば安全と思います。野尻湖周辺にいたら降灰を避けるべく長野市まで南下するのが良いと思います。

次号は火山噴火災害の最終回です。日本の今、注意すべき火山についてお伝えします